

令和8年度学校自己評価システムシート (県立所沢中央高等学校)

目指す学校像	「授業」「学校行事」「部活動」をとおして人間力を高め、夢を実現させる学校
--------	--------------------------------------

重点目標	1. 規律ある態度と主体的に行動する姿勢を養う 2. 自ら学び考える環境を整え、希望の進路の実現を図る 3. 地域との連携をとおし、社会に貢献する人材を育成する
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学校自己評価						
年度目標				年度評価(令和年月日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	○『挨拶・時間・規律』を基本方針とし、全職員の共通認識・共通理解・共通実践を心がけているが、徹底すべき箇所もあり、継続した努力が求められる。	○基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、規範意識の向上とマナーアップを意識させる。	①各学年の生徒指導部を中心に学年内および学年間での情報共有を密にする。全教職員で統一した生徒指導を組織的に行っていく。 ②必要に応じて外部機関との連携を図り、迅速かつ的確に取り組む。	①現代の社会状況に応じて指導内容を適宜見直し、全教職員で統一した指導を実施できたか。 ②地域の方々等の意見に真摯且つ適切な対応を心掛け、双方で良好な関係のもと指導できたか。		
	○生徒会本部役員と各委員会が連携し、行事運営及び情報発信が活発に行われている。行事を通じて学校全体をさらに活性化していく。	○全校生徒の行事に対する積極性を高める。	○生徒会本部と各委員会が円滑に連携して情報を発信する。	○全校規模で生徒会や各委員会の情報を共有し、学校行事を実施できたか。		
	○2年次以降も継続して部活動に加入する生徒の数を増やしていく。	○部活動への意識・意欲を向上させる。	○学校全体で部活動の継続と部員増加を図る。	○生徒は積極的に部活動に参加できたか。		
	○改修して4年目になるトイレを、きれいに使用し続ける意識を高める。	○常日頃からトイレがきれいな状態を保つ。	○トイレ清掃強化週間などを設け、全ての生徒がトイレ清掃を経験することによって、お互いにきれいに使い続ける意識を高める。	○トイレがきれいな状態に保たれているか。		
2	○学習環境を整える前提として、各種行事予定を柔軟に勘案して、十分な授業時間を確保する。	○行事の充実と授業時間の確保を両立する。	○授業と行事についてバランスの取れた年間行事計画を作成し、学期ごとの実情に合わせて日程の調整を行う。	○各教科が授業時間を確保し、充実した授業が行えたか。		
	○自身の進路について早期から考えさせる取り組みを行っているが、高い目標を持ち、主体的に進路実現のために努力する力が不足している生徒もいるため、今後も継続した努力が必要である。	○生徒が自身の進路・キャリアについて目標を持ち、実際に行動に移している。	①分野別・入試別の説明会、夏季補講や小論文・面接指導等の企画を行い、生徒の進路意識の向上を図る。 ②基礎学力サポートや実力テストなどを活用した学習支援を通して、基礎学力の向上を図る。 ③保護者に対して進路関係の情報発信を行い、家庭と連携して進路指導を行う。	①分野別・入試別の説明会、夏季補講や小論文・面接指導等の企画・運営を効果的に実施できたか。 ②基礎学力サポートや実力テストの結果をそれ以降の指導や進路実現に反映し、積極的な声掛けや指導の工夫ができたか。 ③保護者への情報発信を行うことができたか。		
	○美化委員会を中心とする活動は計画的に運営されている。今後は校内の美化・緑化を中心に生徒が主体的に生活環境を整備しようとする意識を向上させていく。	○生徒が主体的に美化・緑化活動に携わる意識を向上させる。	①ごみの分別や食べ歩き禁止についてポスター掲示等をして呼びかけていく。 ②春秋の植栽活動と、さらに除草活動を加え、美化委員会を中心に計画的に実施する。	①常日頃からごみの分別や美化活動が適切にできているか。 ②植栽活動が適切に準備・実施できたか。除草活動を行うことができたか。		
	○授業での図書館活用は、活発に行われている。これに応える資料の準備と生徒の読書意欲の向上、利用者の増加を目指し、電子図書館サービスの導入と蔵書づくりを進める。	○資料の充実をはかり、読書意欲向上と学習に役立つ環境を整える。	○利用者の声を反映させた適切な選書と除籍を行う。電子図書サービスの導入を行う。	○利用者・授業者の希望に応える資料の用意や選書ができたか。		
3	①学校説明会を通して、本校の特徴や行事の魅力を伝える。 ②地域、保護者の評価は高く、強く支持されている。要望に応えながら、地域やPTAと連携した活動をしていく。	①本校の教育活動などについての発信をする。 ②社会のニーズに合わせ、保護者や地域に情報を伝達していく。	①学校説明会で、本校の魅力を効果的に伝える。 ②インターネットやメールを活用し、保護者や地域に必要な情報を発信する。	①年間を通じて、学校説明会等は効果的に実施できたか。 ②ホームページやSNSなど、社会のニーズに応じた情報伝達ができたか。		

学校関係者評価	
実施日	令和年月日
学校関係者からの意見・要望・評価等	